



2022年10月21日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106  
アウディコミュニケーション センター

## e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour Hachimantai」

- 日本で最初の地熱発電所を運転させた岩手県八幡平市を訪問
- 松尾八幡平地熱発電所で地中から取り出した地熱を用いた発電施設を見学
- 八幡平市長、JOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）委員、東北大学の大学生と未来共創ミーティングを開催
- デスティネーションチャージャーを八幡平市に寄贈

アウディ ジャパン（東京都品川区：ブランド ディレクター マティアス シェーパース）は、2022年10月18日に、日本で最初に地熱発電所の運転を開始した岩手県八幡平市を訪問し、サステイナビリティに取り組む地域を e-tron で巡りました。「Audi Sustainable Future Tour」は、持続可能な社会の実現の重要性について、一人ひとりが考えるきっかけの場を作ることを目的にしており、前回訪れたSDGs 未来都市であり、ゼロカーボンシティの先駆けである岡山県真庭市に続くツアーになります。

盛岡駅に到着後、最初に訪れたのはノーザングランデ八幡平。同市内で地熱を利用して生産された野菜などを中心とする、地産地消と再生可能エネルギーが融合されたサステイナブルな料理を堪能しました。

次に、国内では22年ぶりの2019年1月に新規稼働した松尾八幡平地熱発電所を訪問し、地熱発電の仕組みや発電に必要な設備見学をしました。硫黄の香り漂う蒸気が冷却塔から噴き出す同地熱発電所は、地中の熱エネルギーを利用して発電をおこない、発電出力は7,499kWを誇ります。これは一般家庭の約15,000世帯分の消費電力に相当する電力であり、八幡平市内の全ての家庭の電力を賅える量です。

（八幡平市世帯数：11,000世帯 2021年12月末時点）

松尾八幡平地熱発電所を出発した後は、岩手県および北東北で唯一のマッシュルームファームであるジオファーム八幡平に伺い、循環型の農業を見学しました。馬厩肥を用いて栽培するマッシュルームは伝統的な栽培方法として知られ、引退した競走馬などのセカンドライフの場を提供する一方、循環型農業を確立しています。同農場は、馬本来の生態系のなかにある仕組みを活用し、牧草を食べ、粗い状態で排出し、地熱を利用して堆肥化、そこから作り出した土をマッシュルーム栽培に使用します。ジオファーム八幡平の船橋 慶延代表は「既存の馬の産業以外で馬たちが自活できる産業の創出を目指している」と語りました。地熱は一年中マッシュルームの栽培と収穫を可能とする栽培ハウスの温度調整機能の一部としても利用され、地熱が生産の一部として重要な役割を果たしていることを示します。

ツアー最後は八幡平市役所を訪問し、未来共創ミーティングと題し、農（みのり）と輝（ひかり）の大地を将来像に見据えて農業と観光の発展を目指す八幡平市長の佐々木 孝弘氏、日本国内でのエネルギー資源と地熱発電の研究をおこなうJOGMECの委員である鈴木 杏奈氏、現在東北大学に在学している、堀 海人さん、守田 結貴さん、長谷川 諒さん、奈良 拓実さん、そしてアウディ ジャパンブランドディレクターのマティアス シェーパースが、アウディが電動化に向かう未来のビジョン、そして日本における再生可能エネルギーとその活用の重要性について意見交換をおこないました。産官学がそろったミーティングの場として、参加者それぞれの未来に向けた取り組みやその課題について、そして将来を見つめる学生からは、電動化を進めるアウディへの質問や課題提議がありました。また、オブザーバーとして参加頂いた Audi 岩手やメディアの皆さまからも、地熱発電の利用に対する質問や、東北地域で電気自動

車を販売する現状と取り組みの共有があり、現状の環境と持続可能な未来に向けた活動を考える場となりました。共創ミーティングの最後に、アウディ ジャパンより目的地充電として使用できるデスティネーションチャージャーを岩手県八幡平市に寄贈しました。今後寄贈されたデスティネーションチャージャーは同市内に設置され、訪れる電気自動車に電力を供給します。

アウディは Vorsprung 2030 のブランド戦略を基に、Mission Zero というバリューチェーン全体の CO<sub>2</sub> 出量を削減する目標を設定しており、2025 年には 2015 年と比較し、30%の排出削減をすることを目標としています。2033 年には中国を除き内燃エンジン生産を停止することを決定しており、2022 年 10 月 12 日より新たに Audi Q4 e-tron / Q4 Sportback e-tron を発売開始したことで、計 8 車種の電気自動車を販売し、2024 年までに 15 モデル以上の電気自動車を導入することを公表するとともに、電動化戦略を加速させています。

また、ポルシェジャパンと 2022 年 10 月 13 日より「Premium Charging Alliance (プレミアム チャージング アライアンス)」のサービスを開始し、日本国内での 150kW 急速充電器のネットワーク拡充をおこなっています。アウディ ジャパンが 2022 年末までに段階的に設置をおこなう 52 拠点 52 基のアウディ ウルトラ チャージャーとポルシェジャパンが保有するポルシェ ターボチャージャーと合わせて 110 拠点 121 基の充電器を今後両オーナーは利用することができ、電気自動車の利便性の向上を促進していきます。今後も e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour」を通し、持続可能な社会の実現の重要性について積極的に発信してまいります。